

## 1. 地域農業の状況

○ JAとうや湖は北海道洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町、伊達市大滝区を事業区域としており、昭和62年3月に誕生した北海道では初めてとなる広域合併農協である。



○ JAとうや湖は、環境との調和に配慮しながら、安全、安心、高品質な農畜産物を提供するためにクリーン農業※1に取り組んでおり、YES! clean認証※2・エコファーマー認定取得の他、グローバルGAP認証をJAとしては日本で初めて取得した。

○ 管内の伊達市大滝区は山に囲まれた土地が多く、高齢化のため農家数が著しく減少しており、耕作放棄地（再生が困難な農地）や遊休農地（直近まで使われていたが今後荒廃化のおそれがある農地）が増加している。

※1 クリーン農業・・・堆肥などの有機物を肥料として使用することで、農業にかかせない「健康な土づくり」を行い、農薬や化学肥料の使用を最小限にとどめることで生態系と環境に配慮した、北海道で取り組まれる持続可能な「環境保全型農業」のこと。



北海道安心ラベル

※2 YES! clean認証・・・クリーン農業によって生産された農産物を認証する北海道独自の表示制度。

活用した  
支援策

## 2. 地区概要

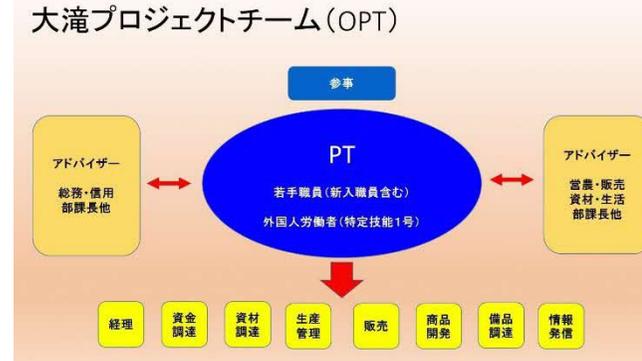
取組主体	JAとうや湖 大滝プロジェクトチーム	地区名	おたさく 大滝区
再生面積	1.5ha	取組年次	令和5年～
作付作物	サツマイモ	販路	ホクレン、Aマート、生協等

## 3. 取組内容及び効果

### JAとうや湖若手職員による遊休農地を活用したサツマイモの実証栽培

○ 大滝プロジェクトチームを組織  
JAとうや湖管内で特に高齢化等に伴い耕作放棄地の増加が進んでいる伊達市大滝区の農地を守るとともに町おこし・地域活性化を目指して、**入組5年以内の若手職員を中心とした大滝プロジェクトチームを組織。**

経理、資材調達から生産管理、販売、情報発信まで、すべてプロジェクトチームで役割分担して行っている。



○ サツマイモの実証栽培  
農作業経験のない職員でも**比較的栽培のしやすいサツマイモ**の実証栽培を令和5年度より始めた。

令和5年度は、「シルクスイート」と「べにはるか」の2品種を0.5haに定植して栽培。約11トンの収量をあげ、**全道平均と比較しても、品質・収量ともに良好**であった。

令和6年度は、自ら育苗したサツマイモの苗を1ha定植して栽培する計画。

○ 今後について

小麦、キャベツ、ばれいしょなどほかの作物でも実証を行う予定。**JA職員による“半職半農”**で遊休農地を維持・再生できるかを確かめ、将来的には**JAによる農業経営につなげたい**と考えている。

